

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

市立博物館 > > > > > > > > >

- 1 教育・学術・文化の発展に寄与するため、展示や講座を実施
- 2 子ども向けの体験学習や講座を実施
- 3 考古・歴史・民俗資料等の文化遺産を収集・整理・保存し、調査・研究



■所在地：さいたま市大宮区高鼻町 2-1-2 ■電話：048-644-2322 ■FAX：048-644-2313
 ■交通：JR 大宮駅東口 徒歩 15 分

01 質の高い郷土・歴史学習の機会を提供



郷土の歴史を取り扱う博物館として、調査・研究の成果を蓄積してきました。

これを基に、子どもから大人まで、どの世代にもわかりやすい展示や講座、体験学習などを企画、実施し、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」に寄与していきたいと考えています。



02 産業発展の歴史や市内の先端技術をもつ産業を紹介



さいたま市域の産業発展の歴史や市内の先端技術をもつ産業について、展示等

を通じて紹介しています。現代産業に関する興味・関心を高める機会を提供し、SDGsの目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に寄与していきたいと考えています。



03 文化遺産を守り伝えまちづくりに活かす



さいたま市域での生活や歴史に係る数多くの文化遺産について、調査・研究を

行い、博物館資料として保存しています。これらを活用し、地域の魅力を発信することで、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」に寄与していきたいと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。

浦和博物館 > > > > > > > >

- 1 明治11年(1878)に建てられた埼玉県師範学校校舎(鳳翔閣)の中央部外観を復元した建物
- 2 国指定史跡見沼通船堀に関する資料、馬場小室山遺跡出土の人面画土器及び土偶装飾土器などを展示



■所在地：さいたま市緑区三室 2458 ■電話：048-874-3960 ■FAX：048-874-3960
 ■交通：JR北浦和駅東口 東武バス 市立病院行き 終点下車すぐ

01 子ども体験講座「遊びから学ぶ資源循環」

～昔遊びを体験しながら資源循環について学んでみよう！～



当館は、子どもたちを対象に昔遊び体験講座を行ってきました。温暖化により環境が変わる現在、モノを大切に使う姿勢を象徴する「モッタイナイ」は万国の共通語ともなった日本語です。こんな時だからこそ、身近にある素材を使って大切な遊び道具として活用してきた、考える力を見つめなおす機会として事業を実施していきます。



この取組を通して、SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」に寄与していきたいと考えています。

02 親子自然塾「鳥から学ぶ自然環境」

地域の自然から世界の環境を考える

～渡り鳥から学ぶ地球の未来～



当館では「親子探鳥会」を実施しています。渡り鳥の生態観察を通し、気候変動による影響や自然の変化など、



地球環境を改めて考え直す機会を提供するものです。経年調査で得られた結果は毎年フィードバックされ、問題を分析する能力や、未来を想像する豊かな心の醸成に繋がる事業を実施していきたいと考えています。この取組を通して、SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」に寄与していきたいと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。

浦和くらしの博物館民家園 >>>

- 1 さいたま市内に残る伝統的な古建築を移築復原し、民俗資料を収集・展示・保存する野外博物館
- 2 かつての見沼田んぼの中に立地する、緑豊かな環境



■所在地：さいたま市緑区下山口新田 1179-1 ■電話：048-878-5025 ■FAX：048-878-5028
■交通：JR 浦和駅東口 国際興業バス 東川口駅北口行き 念仏橋下車すぐ

01 文化財を次の世代に



園内では市指定文化財建造物5棟、国登録文化財建造物1棟を保存・公開しています。郷土の歴史的な文化遺産としてこれらを保全し、次の世代に伝えていくことで、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」に寄与していきたいと考えています。



02 子ども農作業体験講座



園内の茅葺民家の景観も兼ねた畑で「子ども農作業体験講座」を行っています。秋に園内の落葉を集めて作った堆肥を使い、できる限り無農薬で、親子が手作業で野菜栽培を体験します。地元ゆかりの伝統野菜などの栽培で郷土理解を深めるとともに、収穫までの努力に思いを致し、食物を大切にする気持ちを育てる機会として、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」に寄与していきたいと考えています。



03 見沼田んぼ地域から考える環境



当館の所在する見沼田んぼ地域の自然観察や、自然を素材とした遊びやものづくりの講座を行っています。身近な植物や生物の中の外来種や生物多様性について学ぶ機会を設けることで、SDGsの目標15「陸の豊かさを守ろう」に寄与していきたいと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。

旧坂東家住宅 見沼くらしっく館 >>>>

- 1 昔の知恵と工夫を学べる講座・体験学習の実施、年中行事による地域の歴史と文化の継承推進
- 2 地域文化の学習を通じた地域への愛着育成推進
- 3 見沼たんぼの豊かな自然を活用した人と自然をつなぐ活動拠点



■所在地：さいたま市見沼区片柳 1266-2 ■電話：048-688-3330 ■FAX：048-688-3335
 ■交通：JR 大宮駅東口 国際興業バス 浦和学院高校または浦和美園駅行き三崎台下車すぐ

01 学習の場・地域の交流の場として



当館は展示のほか、昔の人々の暮らしと工夫が学べる講座や



イベント・年中行事を実施することで、地域の歴史と文化の継承に取り組んでいます。また、小学生を対象とした体験学習では、昔の暮らし・伝統文化の学習を通じて

地域文化への理解と愛着育成に貢献しています。これらを育む活動を積極的に行うことで、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」および目標11「住み続けられるまちづくりを」に寄与していきたいと考えています。

02 豊かな自然を活用した講座の実施



見沼たんぼを中心とした豊かな自然を利用した講座・自然観察会・野鳥観察会を行う



ことで、人間活動と自然との調和の意義を伝え、SDGsの目標15「陸の豊かさを守ろう」に寄与していきたいと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。

岩槻郷土資料館 > > > > > > >

- 1 国登録有形文化財である館内で、
岩槻の歴史や生活を展示
- 2 岩槻に関する歴史資料を収集・整理
・保管
- 3 体験学習や展示など、子ども向けの
展示



■所在地：さいたま市岩槻区本町 2-2-34 ■電話：048-757-0271 ■FAX：048-757-0271
■交通：東武アーバンパークライン（野田線）岩槻駅 徒歩 10分

01 「さいたま」をテーマにした講座開催



岩槻城を考える上で重要となる中世城館跡に関する講座や、学芸員による「さいたま

を知ろう」講座を開催しています。多彩な講座によって、郷土の歴史、民俗、文化などを分かりやすく伝え、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」に寄与していきたいと考えています。



02 歴史ある街「岩槻」に関する常設展示



「岩槻城」^{しんぶくじ}「真福寺貝塚」
「児玉南柯」^{こたまんか}「だるま張り子」など、岩槻の歴史に関する文化資源の収集、保存、展示を行っています。展示や講座などの事業を通じて、郷土の魅力を発信し、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」に寄与していきたいと考えています。

展示や講座などの事業を通じて、郷土の魅力を発信し、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」に寄与していきたいと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

岩槻藩遷喬館 > > > > > > > >

- 1 埼玉県せんきょうかんの指定史跡「岩槻藩遷喬館」の公開
- 2 県内では唯一の現存する藩校
- 3 岩槻藩に仕えていた儒者・こだまなんか児玉南柯の紹介



■所在地：さいたま市岩槻区本町 4-8-9 ■電話：048-757-5110 ■FAX：048-757-5110
 ■交通：東武アーバンパークライン（野田線）岩槻駅 徒歩 10 分

01 埼玉県内に唯一残る藩校「岩槻藩遷喬館」



埼玉県の指定史跡であり、また現在埼玉県内に唯一残る藩校でもある

「岩槻藩遷喬館」の公開をしています。江戸時代の教育事情や岩槻藩の儒者児玉南柯の紹介を通じて、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」に寄与していきたいと考えています。



02 岩槻の町を知り愛着を高めるイベントへの協力



岩槻区役所観光経済室・コミュニティ課、東武鉄道などと連携し、岩槻の町を知ると連携し、岩槻の町を知るイベントへの協力を行っています。

岩槻の町を知り、愛着を深めるイベントに協力することで、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」に寄与していきたいと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。

鴻沼資料館 > > > > > > > >

- 1 鴻沼用水路・排水路周辺地域の開発の歴史について展示
- 2 鴻沼用水路・排水路周辺地域で使用された民俗資料の紹介



■所在地：さいたま市桜区西堀 4-1-4
■電話：048-878-5025 ■FAX：048-878-5028（浦和くらしの博物館民家園）
■交通：JR 浦和駅西口 国際興業バス 中浦和・西堀経由桜区役所行き 西堀下車すぐ

01 鴻沼用水路・排水路周辺地域の歴史



鴻沼用水路・排水路周辺地域の開発の歴史に特化し、農具を中心とした民俗資料や写真、パネルなどの展示により、郷土の歴史に理解を深めることで、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」に寄与していきたいと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

旧高野家離座敷 > > > > > > >

- 1 江戸時代末期に主屋の離れとして建てられた小規模な建物
- 2 茶室建築の手法を取り入れた数寄屋造り（さいたま市指定文化財建造物）



■所在地：さいたま市緑区大間木 3-30-11
■電話：048-878-5025 ■FAX：048-878-5028（浦和くらしの博物館民家園）
■交通：JR 東浦和駅 国際興業バス 馬場折返場行き 芝原下車 徒歩 3 分

01 文化財を次の世代に ～現地保存されている歴史的建造物～



さいたま市指定文化財建造物・旧高野家離座敷は、江戸時代末期の蘭方医・高野隆仙たかのりゅうせんが、主屋の離れとして建てた建物です。茶室建築の手法を取り入れた「数寄屋造り」と考えられ、当時の市

域の文化人の座敷の様子を今に伝えています。また、高野隆仙の師である高野長英たかのちょうえいが江戸から郷里の水沢に逃亡する途中、この離座敷に立ち寄ったという言い伝えを持つ建物でもあります。郷土の歴史的な文化遺産としてこれを保全し、次の世代に伝えていくことで、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」に寄与していきたいと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。

与野郷土資料館 >>>>>>>>

- 1 さいたま市西側エリアを対象とした歴史的資料の収集と保存・管理、調査研究
- 2 一般市民対象の講座、学校教育と連携した体験学習等の教育普及事業の推進
- 3 与野の魅力を伝える郷土資料館

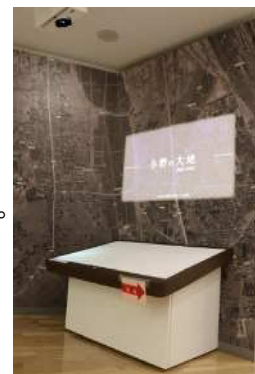


■所在地：さいたま市中央区本町東 3-5-23 ■電話：048-714-5471 ■FAX：048-714-5472
■交通：JR 与野本町駅西口 徒歩4分

01 誰でもわかりやすく、親しみやすい展示と講座

～実物を含む収蔵品を系統的に展示し、最新の映像技術も活用しています～

当館では旧与野市域に限らず、さいたま市域の西側エリアも対象とした幅広い資料の収集や展示を行い、プロジェクションマッピング、タッチパネルなどの最新の映像技術を活用することで、来館者の誰にでもわかりやすく、親しみやすい展示の充実に取り組んでいます。また、当館主催の一般市民を対象とした平易な「お気楽講座」を開催しています。こうした取組を通じて、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」に寄与していきたいと考えています。



02 みんなが誇れる歴史的遺産の保存と継承

～市民ボランティアと共に体験学習や「多世代交流の場」を提供します～

当館の所在する旧与野市域は、歴史的に大変貴重な多くの文化遺産が存在しています。

これらの先人の残した遺産を適切に保存・展示し、次世代に確実に継承しながら積極的に活用するため、学校教育と連携した「体験学習」を実施します。また、館内で市民ボランティアの方と子どもたちが昔遊びの体験や昔の道具、与野のお祭りなどについてコミュニケーション



を深められる「多世代交流の場」も提供します。こうした取組を通じて、目標11「住み続けられるまちづくりを」に寄与していきたいと考えています。

